# 天台佛青連

発 行 元／天台仏教青年連盟
編　　集／布教広報委員会
発 行 所／〒371-0816　群馬県前橋市上佐鳥町 289-1　西光寺内
印 刷 所／〒960-2101　福島県福島市さくら三丁目 2-7　福島カラー印刷株式会社
郵便振替／天台仏教青年連盟　02250-5-6765

題字／第256世天台座主
半田 孝淳 猊下

平成29年
2月28日
発行

index

代表　挨拶 ・・・・・・・・・・・・・ 1
天台宗宗務総長　御挨拶 ・・・・・・ 2
延暦寺執行　御挨拶 ・・・・・・・・ 2
沖縄戦争殉難者慰霊行脚・・・・・・・ 3
東大寺　千僧法要 ・・・・・・・・・ 3
東日本大震災関連レポート ・・・・・・ 4

教区仏青活動レポート ・・・・・・・・ 5
九州西仏青・南総仏青
西日本仏青連絡協議会・・・・・・・・ 6
東日本仏青親睦野球大会・・・・・・・ 7
北海道結集 ・・・・・・・・・・ 8～9

天台青少年比叡山の集い・・・・・・ 10
天台仏教青年中央研修会 ・・・・・ 11
インフォメーション ・・・・・・・・ 12
協賛金協力者御芳名 ・・・・・ 13～15
常任委員会委員長報告 ・・・・・・ 16

天台仏教青年連盟の公式フェイスブックを配信中です！
連盟行事をはじめ、青年僧の様々な活動を宗内外問わず、幅広く発信しておりますので、是非フォローをお願い致します。

情報通信委員会

## 和の精神

天台仏教青年連盟代表
光榮 純貴

平成二十九年を迎え一言ご挨拶申し上げます。

平素より天台仏教青年連盟の活動に際し、ご尽力ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年は北海道仏青発足十周年記念に伴い、札幌の地において全国結集を開催致したところ、全国より百九十一名の多数のご参加を頂き盛大且つ大変有意義な結集となりました。これも偏に北海道仏青会員各位をはじめ関係者各位のご尽力の賜物と衷心より御礼申し上げます。

その結集のテーマ『自然との共生』のもと、我々日本人が今に至るまで如何に自然と密に接してきたか、そして今後もなお共に寄り添うことが出来るのか、あらためて考えさせられました。元来我々の自然観は、四季折々の様々な美しい風景を見せてくれる「ありのままの自然」の中で、その都度ありのままの形で受け入れ生きてきた事により、様々な動植物と共存し生きる為の知恵を養い、その生活の上に培われてきたものだと思います。

日本の四季、気温は常に変化し人間の五感全てにおいて感じ取ることが出来ます。だからこそ、その感覚はとても敏感であり繊細であろうと思われます。台風、地震、火山など多くの自然災害に見舞われた困難な状況におかれてもお互いに協力し合い、ひたすら耐えることを身につけることができました。時に猛威をふるい恐ろしい存在である自然ですが、我々は豊富な海の幸、山の幸、大地の恵みなど多くの恩恵を受けて参りました。また、我々には古来より「大和魂」と云う精神理念があり、「和」には「穏やかなこと」「和やかなこと」「仲良くすること」「合わせること」などの意味も持ち合わせております。誇りとなり得た精神には、決して自然を征服するものではなく、常に寄り添い共生する調和を追求し自然を尊ぶものとなったことは、その自然観の根底にある感謝の念を忘れずに歩み、結果として永きに亘って大和民族としての文化が根付き、絶えず自然を身近な存在とし敬ってこそで、このことからも日本人と自然は親密で、常にその恩恵に触れていたいと念願していることがいえるのではないでしょうか。

時に海外の方は、日本人について「強く自分を主張しない」「曖昧な表現や態度を取る」というような批判をされる方もいらっしゃいますが、日本人はとても調和を大切にします。自分の意見や気持ちを他人に伝え、行動する時には相手の立場を考えます。こういった部分は、「自然との共生」も「人との共生」も他を敬うことが根底にあり、仏教の「和の精神」が影響しているからであろうと考えます。

更に先日、延暦寺小堀執行様が今年の年頭のお言葉に「能行不退」「能く行じて退かず」をお定めに成られました。まさに我々青年僧に対する素晴らしいお言葉と真摯に受け止めさせて頂くと共に、私たち青年僧が「和の精神」のもと平和の為、また世の為人の為に「ありのまま」の姿で今出来る事を決して諦めず、微力ではありますが精一杯邁進して参りたいと願うばかりです。

自然災害の多い昨今、未だに元の生活に戻れない方々が居られます。自然に対し畏敬の念を持ちながらも同時に感謝の念を忘れず、これからも皆様と共に「和の精神」をもって根気強く復興支援活動して参りたいと思っております。「衆生安穏」「被災地早期復興」を心よりご祈念申し上げまして発刊にあたりましてのご挨拶とさせて頂きます。

合掌

# 御挨拶

天台宗宗務総長
木ノ下 寂俊

天台仏教青年連盟会員の皆様方には、お健やかに平成二十九年丁酉の新春をお迎えになり、益々ご壮健にてご法務にお励みの御事とお慶び申し上げますとともに、「一隅を照らす」との宗祖大師の御教えを敷衍いただくべく、日頃の諸活動を展開いただいておりますことに、心から敬意を表する処であります。

さて、「祖師先徳鑽仰大法会」は第一期の「慈覚大師一千百五十年御遠忌」を平成二十七年三月末日にて魔事なく円成を迎えることとなり、四月一日には根本中堂におきましての国祷会の法要に引き続きまして、「祖師先徳鑽仰大法会」第二期の開闢法要を総本山延暦寺、天台宗両内局出仕にて厳修させていただき、「祖師先徳鑽仰大法会」後半の七年間に亘る第二期へと、両内局一丸となって取り組んでおります。

第二期では「恵心僧都一千年御遠忌」「伝教大師御生誕一千二百五十年」「相応和尚一千百年御遠忌」「伝教大師一千二百年大遠忌」と、まさに各祖師方の報恩並びに慶祝の法要を勤める事に相成ります。

平成二十九年度は、十一月三日には「相応和尚一千百年御遠忌」がご祥当を迎えるにあたり、報恩法要を厳修の予定であります。

祖師先徳鑽仰大法会の第一期、第二期を通じての記念事業の一つであります「根本中堂大改修工事」につきましては、平成二十八年十月からは、十年に亘る本格的な工事へと歩を進め、まずは覆い屋の取り付け工事が二年の工期にて、始まっております。

仏教青年連盟会員の皆様方には「本末一如」「愛山護法」のお心持ちにて、より一層の御協力をお願い申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

# 御挨拶

延暦寺執行
小堀 光實

平成二十九年を迎え、天台仏教青年連盟機関会報を通じて全国の仏教青年の皆様にご挨拶申し上げます。

祖師先徳鑽仰大法会第二期執行中のいま、仏青会員各位には大法会諸行事、諸事業の取り組みとともに、総本山延暦寺法灯護持にご理解ご協力をいただき誠に有難うございます。小職も平成二十六年六月末より延暦寺執行を仰せつかり、この六月で早三年の任期を迎えることとなりました。

省みますと第二期の大法会諸行事展開に向けた実動のバックアップは、若い方の発想とその機動性であったと思いますし又、延暦寺の常々の法務従事は勿論、木ノ下寂俊宗務総長ご当局とともに法会事業の奉修の最中、就任初年の十一月には第二五五世渡邊恵進大僧正猊下、翌二十七年の十二月には第二五六世半田孝淳大僧正猊下お二人方の天台座主とのお別れが続いてその思いを強く致しました。

晩年渡邊猊下は天台の僧として戒を受持（たもつ）ことの意について、半田猊下には平和希求の実践と祈りについてをそれぞれご教示下さったのですが、要は次代に向けた僧侶の姿勢とその使命を懇々と語られたのでした。殊に東日本大震災のあと、被災者、被災地に支援する多くのボランティアの活動に触れられ、天台宗にあっての青少年の働きを大いに期待されておいでした。今や各教区仏青間のネットワークは緊密でその活動も迅速、内容も多岐に亘って只々頭が下がる思いです。座主猊下のご期待通りに会員皆様の利他の行動が天台宗のみならず、広く世界の宗教者の活動に連携されるよう念じております。

# 第十五回沖縄戦争殉難者慰霊行脚

東海仏青　横地　全倫

平成二十八年四月二十三日朝八時、那覇市にある南洋諸島沖縄県人戦没者並開拓殉難者慰霊塔に集合し、沖縄戦跡慰霊行脚実行委員会委員長秋吉文隆師の挨拶と、先達の比叡山回峰行者大行満藤波源信師の導師による法要から始まった慰霊行脚に参加してきました。

続いて西原の塔、嘉数台地・京都の塔など慰霊塔三箇所、普天間基地展望台、沖縄念法寺を巡り、読経や散華し参拝した十七キロの行程でした。

途中には参拝箇所以外にも多くの慰霊塔が点在しており、沖縄の地で起こった戦争で苦しんだ人々の鎮魂を想いながらの行脚で、沖縄念法寺の関係者による各休憩所でのサポート、さらには昼食の用意など配慮いただいたことで、最後まで行脚することができました。

戦争の犠牲により亡くなられた人々への追悼の想いと繰り返されることのない戦争への願い、平和への祈りを誓い、広めなくてはならないと感じました。

# 仏法興隆花まつり　千僧法要を終えて

信越仏青　和田　隆嗣

平成二十八年四月二十六日に奈良県の東大寺にて行われた「仏法興隆花まつり千僧法要」に、初めて参加させて頂くことができました。

テーマは「慈悲の実践、世界平和の祈り」。東大寺の華厳経を表す盧舎那仏さんの真下で、大仏さんを取り囲み行った法要はとても印象深く、日本中各地から様々な宗派の方々が集まり、それぞれの形での読経や私たちであれば天台声明をお唱えしました。

また、約六百人近い僧侶たちが大仏殿に向かって進んでいく様子は圧巻でありました。その列の周りは観光客で溢れており、突然僧侶が現れて驚いている様子が分かりました。特に外国人の観光客や修学旅行で訪れている参拝客の割合が多く感じましたが、様々なお経を唱え、それぞれに違った衣を着ている僧侶を見ることができるのは大変貴重な体験となったのではないかと思います。

全日本の宗派を超えた仏教青年会が、ここまで集まれる機会はないと思いますので、この花まつりが続くことを願うと同時に、更に発展し開催されることを心待ちにしております。このような貴重な機会に参加させて頂きまして、誠にありがとうございました。

総本山延暦寺　御用達
法衣 中末法衣店
〒606-8287
京都市左京区北白川上池田町12-1
TEL 075-723-8865
FAX 075-723-8867

井筒法衣店
〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）
電話　075-365-0001（代）　FAX　075-353-7021
東京店／東京都新宿区三栄町11-6
電話　03-3358-1500（代表）

天台宗専門法衣司
山科大西法衣店
〒607-8357
京都市山科区西野楠川町45-21
電話（075）591-9159
FAX（075）502-5418
0120-568-024

# 東日本大震災

## 物故者慰霊法要

陸奥仏青　太田　義法

去る平成二十八年四月五日、宮城県南三陸町にて東日本大震災物故者慰霊法要が厳修されました。

毎年天台仏青連盟では合同ボランティア活動を被災地にて行っておりましたが、震災から五年が経過した本年は宮城県南三陸町歌津地区の「鎮魂の森」を会場に震災の慰霊法要が執り行われ、それに併せて埼玉仏青様主催のワカメ漁ボランティアも開催されました。

旧歌津駅近くに造成・整備された「鎮魂の森」は震災物故者の慰霊碑と観音像が建立されており、また津波が来た際には避難する高台としての役割も持っているとのことでした。

当日は快晴の空の下、海を臨む慰霊碑の前でまず物故者を悼み黙祷を行い、その後光榮連盟代表導師のもと慰霊法要が行われました。五十名を超える全国の各仏青会員の他、旧歌津町長で「鎮魂の森」設立者の牧野様をはじめとする被災された遺族の方々も参列し、静かに手を合わせておられました。

震災から五年の歳月が流れ、これから被災地が復興へと進んでいく中で我々に何ができるのか、何をすべきなのかを改めて考えさせられる機会となりました。これからも被災された方々の助けとなるよう支援活動を継続していきたいと思います。

## 連盟合同ボランティア活動

埼玉仏青　光栄　澄人

四月五日、宮城県南三陸町歌津の鎮魂の森にて、連盟主催による物故者慰霊法要が行われました。

この歌津の石浜地区では、震災直後より埼玉天台仏青として支援を続けていることもあり、連盟代表より「埼玉仏青の皆さんが活動している石浜地区で、ワカメ漁もお手伝いさせていただきたい」とお話があり、この合同の活動が実現しました。

法要の翌日早朝より、連盟役員、茨城、栃木、南総、陸奥、埼玉の各仏青会員、角本社会部長にもご視察いただき、総勢二十七名で、港にて沖から収穫してきたワカメを並べ、まずワカメとメカブに切り分け、次にメカブの茎と葉を分ける作業、これが終わると今度は漁師さん宅の作業場にてワカメの仕分け作業等を行いました。

全国より仏青会員が集まり、お手伝いいただいた事を大変に喜んでいらした石浜の方々のその笑顔に、今後とも被災された方々に寄り添い、復興支援を続けていこうと心に誓いました。

京法衣・京仏具
安藤
京都本店 〒605-0081 京都市東山区古門前通花見小路東入
TEL0120-29-8161 FAX075-525-2359
東京店 〒105-0014 東京都港区芝2丁目15-2
TEL0120-3232-09 FAX03-3454-3251
福岡店 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町12-7
TEL0120-2143-22 FAX092-291-2144

天台宗務庁御特命
三諦章袈裟専織所
山寺庁達
本暦務用
総延宗御
森忠法衣店
五代目 森 忠兵衛
〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入
電話 075-231-1203番
FAX 075-255-7020番

法衣・稚児衣装・仏具荘厳品
贈答記念・授与品
株式会社鈴木法衣店
東京店・埼玉店フリーダイヤル
TEL 0120-55-0369
東京店 〒110-0015
東京都台東区東上野6丁目8番8号
FAX 0120-44-7560
埼玉店 〒345-0047
埼玉県北葛飾郡杉戸町高野東1丁目15-7
FAX 0120-66-5966
ホームページ
http://www.suzukihouiten.jp

# 教区仏青活動レポート

## 熊本地震ボランティア

九州西仏青　鷲岡　嶺照

平成二十八年四月十四日夜、比較的強い揺れを感じました。すぐに緊急地震速報が鳴り、テレビを点けたところ熊本を震源とする震度七の地震が起こったことを伝えていました。

その二十八時間後、今度は突き上げるような揺れが襲い、瓦が落ちて割れる音、家がきしむ音、ただうずくまることしかできない揺れは震度六弱を記録しました。その日、通夜を本堂で行っていたため、檀家の方々が泊まっており、すぐに避難誘導し、火の元を消し、ブレーカーを落として外へ避難しました。

一時孤立したものの十八日には熊本市内への道路も復旧し、教区より全国からの支援物資が運び込まれてきました。私は地域の方々への配布や南阿蘇村の福祉避難所や阿蘇市内の幼稚園、老人ホームなど行政では支援の行き届かないところを中心にニーズ調査に回り、集積された物資を配布する活動を行いました。六月頃からは益城町のNPO法人からの要請に応じて物資の供給を行いました。

全国の仏教青年会の皆様のご支援に感謝いたします。

## タイ王国における植林活動

南総仏青　秋山　秀田

南総教区は約十二年前から、スラム街支援事業を旨とするタイ王国ドゥアン・プラティープ財団に対して支援金や古着を届ける活動を行ってきました。南総仏青会員も当初よりこの活動に参加しており、その中で若い力で財団活動を手伝って欲しいとの声を受け、ボランティア活動を通じての一隅を照らす人材育成を目的として、タイ南部にある財団の青少年更生施設「生き直しの学校チュンポーン校」での植林事業を計画することになりました。

麻薬犯罪者・中毒者の更生施設でもあるチュンポーン校は、市街から離れた山間部に位置し、広い敷地に宿舎・食堂・作業小屋等の施設を抱え、ゴムやアブラヤシ、バナナの林も整備されています。この内のゴム林は約三十年前に天台宗などにより植林されたものですが、ゴムの木は年数を経ると樹液が採れなくなります。今回南総仏青は平成二十四年から二十八年の五年計画で、一六〇〇〇㎡の敷地に、古いゴムの木を伐採し新しいゴムの苗木を植林することにしました。

財団と共同で事業を進めて分かったのは、自分たちは何も分かっていなかった事です。支援金を渡しに行くだけとは違い、計画の見通しや仕事の進め方など、タイと日本の差異を実感させられました。また計画ではゴムを毎年少しずつ植林するつもりが、樹木の病気を考慮してアブラヤシの苗に変更、しかも一気に植えることになりました。苗が無事に育つか心配でしたが、アブラヤシは思いのほか順調に根付き、生育も早く大きな青い葉を茂らせてくれました。

また、施設の生徒達とスポーツをしたり、現地の歌を歌ったり、地域風習に参加したり、とても新鮮で楽しい経験をさせていただきました。数年間繰り返し学校を訪問したので、こちらの顔を覚えてくれた生徒もいました。我々の来訪が彼らにとって楽しい刺激になったのであれば嬉しいです。

昨年度より天台仏青連盟からもご参加ご支援をいただき、今年度をもちまして南総仏青植林計画は円成を迎えることができました。財団に対しては今後も様々な角度からの支援活動を継続したいと考えております。また、この活動が全国の仏青に広がっていけばありがたいと思います。

天台宗の共済

かけがえのない寺院建物
収容動産を火災や水災等の
様々な災害からお護りする

天台宗災害補償制度

総本山延暦寺御用達
藤 安田念珠店
〒604-8072
京都市中京区寺町六角角
TEL（075）221-3735
http://www.yasuda-nenju.com/
手のひらから伝わる。
表敬をぬくもり
京都駅店（ザ・キューブ店／ポルタ店）
京都髙島屋店／日本橋三越本店店

各宗本山御用達
各宗珠数製造販売
お珠数専門の老舗
カ 小野珠数店
〒604-8045
京都市中京区寺町通蛸薬師下ル
電話 〇七五（二二一）二六〇八
FAX 〇七五（二五六）三二八八

# 第七回西日本仏青連絡協議会

九州東仏青　野中 健雄

平成二十八年二月八日・九日に天台仏青連盟「第七回西日本仏青連絡協議会」を宮崎にて開催させて頂きました。

西日本仏青連絡協議会とは、西日本に位置する十二の教区が対象となる仏青の研修会であります。

第七回を迎えた今回は、私たち九州東仏青会が担当となり、宮崎にて開催いたしました。

一日目は青島神社を参拝。参加者三十名、青空が広がり、南国・宮崎らしい陽気な気候の中、開催することができました。青島は周囲八六〇メートルで形成され、青島神社は島のほぼ中央に鎮座しております。海洋に対する信仰によって奉祀され、古くから青島全体が霊域として崇められており、江戸時代までは一般の方は入島できませんでした。

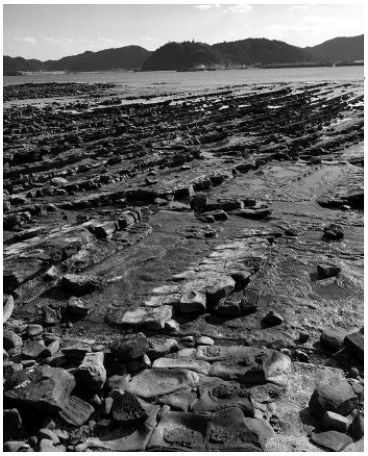
島の周囲には、まるで鬼が洗濯をするかのようなダイナミックな波状岩「鬼の洗濯板」が広がります。あまりに整然と広がる岩々の景観に、人工物と勘違いされ、「作るのが大変だったでしょうね」とおっしゃる方もいるそうですが、長い年月によって自然の力で作られた天然記念物であります。

青島到着後は、宮司様より、島内の由緒・歴史について、懇切丁寧にご案内を頂きました。

また、本殿にて修祓も行って頂き、厳かな神聖な空間の中、神道の儀礼に触れることができ、大変有り難く、また意義深い経験ともなりました。夜は宮崎の郷土料理店にて、地物を味わって頂き、懇親を深めました。

また、二日目は、二月の宮崎といえばプロ野球のキャンプシーズンでありますので、希望者方とソフトバンクホークス、読売ジャイアンツのキャンプを見学いたしました。

お陰様で、二日間の日程を無事に終えることができ、ご参加頂きました皆様に心より御礼申し上げます。



さて、本年十月にはいよいよ、天台仏青連盟全国大会「九州東結集」が宮崎にて行われます。当結集では、昨年の四月十四日に熊本県・大分県に甚大な被害をもたらしました「平成二十八年熊本地震」の復興への後押しとなれるような有意義な大会となれるよう、会員一同、一致団結して取り組んで参ります。

皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。

沈香　白檀　各種焼香　本舗
法要・行事等　記念品「香」受け賜ります
総本山　延暦寺御用達
風間薫芳堂
〒607-8454
京都市山科区厨子奥苗代元町21-8
電話 075-591-0121　FAX 075-581-5760

空風火水地
品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでまいります。
営業品目　卒塔婆　角塔婆　経木塔婆　ゴマ札　各種特すあり
塔婆製造販売
㈱協和木工所
東京都西多摩郡日の出町平井1316
TEL.0425-97-0732
FAX.0425-97-1816

天台宗総本山延暦寺御用達　最高の京仏壇
三法堂
京都市中京区三条小橋東入
電話〇七五(二二二)〇五五三(代)
FAX〇七五(二二二)二四〇七

# 第三十八回 東日本仏青親睦野球 福島大会

福島仏青　高宮 良道

去る平成二十八年五月十六日・十七日、福島仏青主催の第三十八回東日本仏青親睦野球大会が開催されました。

本大会は仏青会員の更なる親睦を図ることだけでなく、東日本大震災より力強く復興の道を歩む福島の今の姿を参加者に実際に見て、感じて、発信して頂くことを大きな目的としておりました。

その準備の最中、平成二十八年熊本地震が発災致しました。大会開催の是非も含め協議を重ね、私達は仏青の仲間、困難の中で頑張っている多くの方々に寄り添い、共に復興に向け歩みたいとの想いから、運営を通じた支援金勧募をもう一つの目的とした開催を目指しました。

大会には各仏青様より約百六十名のご参加を頂き、初日の懇親会・抽選会では野球への意気込みと想い溢れるご挨拶を頂きながら楽しいひと時を過ごすことができました。

しかしながら、翌日は無念の雨。競技は体育館でのドッジボール大会となり、兵庫・岡山仏青様の優勝でその幕を閉じました。

天候には恵まれませんでしたが、各仏青様の多大なるお力添えを頂き無事開催目的を達し大会を終えることができました。

ここに全ての皆様に厚く御礼を申し上げます。

## 野球大会に参加して

茨城仏青　永田 照心

私たち茨城仏青は十七名が今大会に参加させていただき、大会連覇を目標に掲げて、他教区の仏青と親睦を深めました。

大会当日は、未明からあいにくの雨模様となってしまい、野球大会は残念ながら中止となり、かわりにドッジボール大会が開催されました。

普段の野球大会とはまた違ったチームワークを必要とされるために、なかなか自分たちが考えているようには試合運びができずに、残念ながら結果は予選リーグ敗退となってしまいました。

今回は、茨城仏青としては残念な結果となってしまいましたが、次回はまた優勝を目指して頑張りたいと思います。

文化財修復・社寺建築
木澤工務店
本　社　〒606-8414
京都市左京区浄土寺真如町 111 番地-1
TEL(075)751-0628　FAX(075)752-9430
営業所　〒529-1314
工　場　滋賀県愛知郡愛荘町中宿 173 番地
TEL(0749)42-2859　FAX(0749)42-5727

仏像 仏具 念珠 記念品
(株) 髙橋法輪堂
〒120-0001
東京都足立区大谷田 3－8－12
TEL03(5849)3853 FAX03(5849)3863

堂宮大工 大都流
株式会社
西嶋工務店
代表取締役
宮大工　西嶋靖尚
兵庫県姫路市大津区天神町2-73-5
〒671-1131 TEL 079-236-4881
http://daiku.iwish.jp/

扇子
有限会社 中井扇職子
遠藤新兵衛商店
〒600-8334
京都市下京区油小路通六条南入
電　話 (075) 351－1367
FAX (075) 351－1476

# 北海道仏青発足十周年記念
# 北海道結集開催

●北海道仏青の歩み

平成18年
発足

平成21年
3周年

## 結集までの歩み

北海道仏青 会長　山口　礼雄

北海道天台仏教青年会は昨年発足十周年を迎えました。これも皆様のお蔭と心より感謝申し上げます。

平成十八年九月五日、『北海道天台仏教青年会発足式・不滅の法灯全国行脚法要』（連盟主催）が全国各教区代表出仕により、北海道宗務所（函館市天祐寺）に於いて厳修されました。酒井圓弘師（当時連盟代表）から藤原智弘（初代当会会長）へ伝灯され、法要終了後は函館駅前において托鉢を行い、市民に天台宗の不滅の法灯の御教えを広めました。翌年、平成十九年には『北海道天台仏教青年会発足一周年法要』（東北三仏青主催）を天祐寺（函館市）にて厳修。平成二十五年二月七日には『北海道天台仏教青年会発足七周年記念合同法儀研修（唄散華）』（茨城仏青・北海道仏青）を太子寺（札幌市）において行いました。

そして昨年、平成二十八年十月十二日『天台仏教青年連盟全国大会北海道結集』（連盟主催）がロイトン札幌を会場に、全国より一九一名の参加者の元、旭山動物園園長・坂東 元氏、元大正大学学長・多田孝文師を講師に招き、講演会・祝賀会等、盛会に開催致しました。この結集に際しては、光榮純貴代表を筆頭に連盟役員、結集研修委員、そして茨城仏青様の多大なるご理解とご協力を賜り実現出来ました事をあらためて感謝申し上げます。

当時、北海道結集開催が決まった時より不安は予算的なことと人員の点、絶対的な寺院数の少なさがありましたが、開催するならこのタイミングしかないと立候補。数々の問題も連盟代表はじめ関係各位のご尽力により解決することができました。

メインテーマについてですが、北海道で開催されるならばこれしかないと以前より温めていた「自然との共生」をもとに、『今だから考える自然との共生　～ぼくらもみんないきている～』とさせて頂きました。そして真っ先に思いついたのが旭山動物園の園長さん。自然や動物と接し第一線で活躍されているお方ですから生きたお話が聞けることと考えておりました。皆様の心に残り、また自坊に戻りお檀家様に説法をしていただくうえで、分かりやすい共感できるお話がひとつ増えてくれたら良いなと期待しております。

さて、当会はこの十年間の歩みの中で代議員会・中央研修会・全国結集・野球大会・そして東北三仏青総会等、様々な行事にも参加し各教区と交流を深めてまいりました。しかし皆様ご承知の通り北海道は寺院数も少なく今後は会員も限られてきますが、これからも継続出来る限り北海道らしく、そして北海道の色を大切にしながら天台宗の益々の発展の為、中央・地方に目を向け精進していく所存です。今後ともどうぞご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 十周年を迎えて

実行委員長　岡　康照

平成二十八年十月十二日、天台仏教青年連盟全国大会北海道結集がロイトン札幌にて開催されました。

思い起こせば平成十八年九月、天台宗開宗千二百年慶讃に併せて函館の地にて発足した北海道仏教青年会が、十年の節目を迎えるこの年に北海道結集を開催できましたことは誠に有難く感謝致しております。皆様もご周知の通り広大な土地を有する北海道において月に一度の実行委員会で一カ所に集まることは容易なことではありませんでしたが、北海道結集を成功させたいという思いの下団結し準備を進めて参りました。

今大会のテーマを「今だから考える自然との共生」～ぼくらもみんないきている～と題し、旭山動物園園長坂東元先生には「伝えるのは命・つなぐのは命」という演題で、「生き物はみな長い歴史の中で命をつなぎ生き抜いてきた。身近な動物も動物園にいる動物も同じように素晴らしい。人間も動物もみな同じ命。生き物に優劣はない。伝えるのはそれぞれの命の輝きです。」というお話しを頂きました。大正大学元学長多田孝文先生には「仏教と自然」という演題で草木成仏論を中心にわかりやすくお話しいただきました。この度の結集で自然・動物・人間みな地球上で共存していることを認識し、改めて「山川草木悉有仏性」この意

# 会員紹介

座右の銘

疾風勁草

監査
太子寺　**阿部俊哲**

吾唯知足

副会長
等澍院　**大久保唯行**

無為自然

実行委員長
妙法寺　**岡　康照**

用和為貴

会長
天祐寺　**山口礼雄**

一期一会

事務局長
多聞寺　**長野祐順**

一意専心

会計
天祐寺　**山口大雄**

留心翰墨

光明院　**池田憲亮**

履道応乾

天台三井寺　**津田慶春**

平成25年
**7周年**

平成28年
**結集開催**

味を理解できたことと思います。記念品には今後天台青年僧として益々の団結を図るべくお揃いのTシャツと北海道産クルミ材を加工した灰ならしをお持ち帰り頂きました。この灰ならしは旭川市の隣町、当麻町にある障がいを持った方が利用する施設にて一つ一つ丁寧に作られたものです。

わずか八名という仏青会員のもとでこの様に大きな大会を催すことができましたのも、ご理解御協力賜りました各教区仏青、日本各地よりご参加頂いた仏青会員の皆様のお力添えのお陰と深く感謝し、改めて御礼申し上げます。

# 第五十一回 天台青少年比叡山の集い
## 研修生と共に本気で泣いて笑って

実行委員長　小林 玄超

私達は、青少年の育成教化活動の一環として、天台宗と比叡山延暦寺の共催の下、比叡山において小中学生を対象とした研修を夏休みに開催しています。

今回は、五十回の節目を越えた新たなスタートの年として、一つひとつの行事が旧態然とならぬよう心がけ企画してまいりました。近年子供達を取り巻く状況は、アレルギー等の問題、体力の低下など大きく変化をしております。我々リーダーの力だけでは、その全ての事案に対応しきれませんが、ご本山や各教区の皆様のご協力をいただき今回も無事に研修を終えることができました。

本研修は「規律と合掌」をテーマとしております。研修生たちを指導する立場である我々リーダーは、青少年教化の使命と責任を抱きつつ研修生と共に各行事に対して全力で向き合い、共に成長する機会と捉えております。研修中は、発心会や朝の坐禅止観、平和の祈りへの参加といった行事だけでなく、食物への感謝、挨拶、靴を揃える、辛い事も楽しい事も力一杯やってみるといった生活の基本となる事を大切にするよう指導しております。二泊三日という短い研修期間ではありますが、研修生を指導することで逆に教えられることばかりであると感じます。

研修生と共に、本気で泣いて笑って、最高の夏の思い出を作る「天台青少年比叡山の集い」次回も全国から熱意あるリーダーの参加を期待しております！

神社・仏閣用授与品・タオル・風呂敷
ふくさ・進物品・お誂え全般　卸

有限会社 ヤマゼン

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町3-1-15
ユーアイビルディング6F
TEL 06-6251-0551 FAX 06-6251-0552

心をかたちに、感動の旅
寺院参拝旅行を力強くサポート
㈱ビーエス観光

★福知山営業所★
福知山市駅南町3丁目57番地駅南第一ビル2F
TEL0773-23-5055　FAX0773-23-5303

★名古屋営業所★
名古屋市中区金山2丁目1番24号五藤ビル4F
TEL052-332-1261　FAX052-332-1269

天台宗防災士協議会

防災士とは？
自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が(資格)認証した人です。

資格を取得し、災害時の活動や災害被害を減らすために一緒に活動をしましょう!!

詳しくは下記事まで
会長　兵庫教区　井藤圭順
Tendai.bousaishi@gmail.com

# 平成二十八年度 天台仏教青年中央研修会

天台宗務庁　社会部社会課　課長　高見 昌良

天台宗として、青年僧に今学んでいただきたいテーマを考え、そのテーマに沿った講師を選任し開催しております中央研修会ですが、本年は、一般社団法人「お寺の未来」理事、「未来の住職塾」塾長松本紹圭師を講師に、「お寺の未来～これからのお寺の百年を開く」と題した講演をいただきました。

今回の研修会開催にあたり、何度も講師の松本師と打ち合わせを重ねる中で、我々が今回の研修において目指す目標を次のように提示いたしました。

一、寺院を取り巻く実状
（危機感の自覚）
二、衆生の求めるもの
（ニーズの把握）
三、寺院と檀信徒、地域を結ぶ施策（気づき）
四、施策の具体的な検討
（行動）

当日の松本師の講演につきましても、数多くのデータ、実践例に基づいたものであり、今後の私たちの行動指針となるものであったと思います。また、小野常寛師の実践発表も大変よい刺激になりました。

この研修を受講した青年僧がそれぞれの中でこの時間を消化いただき、これからの寺院運営に少しでも役立てていただければと思います。

# これからのお寺

三岐仏青　髙木 恵海

仏教離れが進むこのご時世に、私たちは人々から信頼され、迷い、悩みを仏教の教えによって救えることが一番大切だと感じました。

今私たちの年代の人々は、お寺は供養するだけだと思っている人が多く、そして悪いイメージをもつ人も少なくないのではないでしょうか。

そのイメージを改善するには、まずお寺というものを知ってもらう必要があります。そのためには、お寺に気軽に足を運べる環境をつくり、人と接し、信頼関係を築き、何をお寺に求めているのかを考えることが大切ではないでしょうか。お寺本来のありかた、仏教の教えを忠実に守り、今生きている人々のために仏教を広めていきたいと強く感じました。そして人々とともに、みんなの心のよりどころとなるお寺を築いていきたいです。

御守・木札・鈴守
十二支守・和紙守
来栖美商（有）
〒309　1705
茨城県笠間市東平2丁目12番14号
TEL（0296）71－9633
FAX（0296）71－9632

誠実と真心で奉仕する
御守・授与品・参拝記念品奉製
天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ
御一報次第カタログ御送り致します。
グリーン産商株式会社
〒547-0033　大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009(代表)　FAX 0120-34-2996

金襴錦守・絵馬・木札・紙札・記念品・製造販売
全国社寺 授与品 調度品 総合奉産
吉祥院　奉じる心を大切に　京都
東和奉産株式会社
本社
〒601-8348　京都市南区吉祥院観音堂町7
TEL (075) 691-3000　FAX (075) 691-3300
Email info@towahosan.jp　HP http://www.towahosan.jp/
北関東営業所
〒319-0323　茨城県水戸市鯉淵町
TEL (029) 297-8077　FAX (029) 297-8076

## 全国大会「九州東結集」のご案内

**平成29年10月2日（月）～3日（火）**
**2日（月）／宮崎観光ホテル・3日（火）／鵜戸神宮**

**テーマ：がんばろう青年僧　がんばろう九州**
～日本のひなた（宮崎県）から一隅を照らそう～
講　師：水谷もりひと氏（宮崎中央新聞編集長）
秦順照師（中央布教師養成所　所長）

平成29年度全国大会「九州東結集」を宮崎県にて2日間開催いたします。

1日目は布教をテーマに2名の講師にご講演を頂き、仏教的な視点からと、仏教の枠を越えた視点からと、両者から今後の布教への学びを得て頂きたいと思っております。

2日目は日南市・鵜戸神宮を参拝いたします。
当神宮は海洋信仰のもと、雄大に広がる日向灘に面し、本殿は自然洞窟の中に鎮座する、全国的にも稀有な造りです。

かつては天台宗僧侶が初代別当職を務め、神仏習合として栄えてきた歴史があります。

宮崎の地にて、天台青年僧にとって有意義な結集が開催できるよう、会員一同準備に取り組んで参りますので、宜しくお願い申し上げます。

〈九州東仏教青年会〉

## 第39回 東日本仏青親睦野球 神奈川大会のお知らせ

**【大会日程】**
**平成29年5月23日（火）～24日（水）**
〈1泊2日〉
※1日目に野球大会と懇親会を開催します。

**【大会会場】**
**神奈川県立保土ヶ谷公園**
（横浜市保土ヶ谷区花見台4-2）

**【懇親・宿泊会場】**
**新横浜国際ホテル**
（横浜市港北区新横浜3-18-1）

★今大会は、過去の日程とは異なり、初日に野球大会と懇親会を開催する予定です。
神奈川仏青といたしましては、野球を先に行い親睦を深めることで、懇親会では今まで以上に忌憚のない意見交換や交流が出来ると考えております。
会員一同、精一杯のおもてなしにも努めてまいりますので、多くの皆さまのご参加を心よりお願い申し上げます。

**【問い合わせ】**
神奈川天台仏教青年会事務局

## 天台仏教青年連盟HPのご案内

**http://www.t-y-b-a.com/**
**または『天台仏教青年連盟』で検索**

天台仏教青年連盟HPでは、天台宗青年僧の様々な活動を知って戴けるよう、連盟や各教区仏青の諸活動を掲載しております。

更に「Q＆A」も順次回答を増やしていき、会員の布教活動の一助、そして一般の方々の興味として充実を図っております。

また、連盟公式のfacebookを開設しました。こちらも連盟諸活動の写真を中心に随時更新中ですので、アカウントをお持ちの方は是非ご活用下さい。

この連盟HP・FBを全国の会員相互の情報交換ツールの一つとして活用戴ければと思います。会員の皆様には、是非各仏青の活動を報告して戴きますよう、ご協力をお願い致します。

〈情報通信委員会〉

## 平成28年度天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

**●熊本地震災害**…… 合計1,335,710円
**【寄託先】日本赤十字社** …… 1,157,214円
**九州西仏青** …… 178,496円

**●台風10号災害**
…… 合計134,305円
**【寄託先】日本赤十字社** …… 134,305円

**●連盟地球救援募金**…… 合計629,576円

**合計**…… 2,009,591円

ご協力いただきました各仏青様に感謝いたします。
今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈救援委員会〉

※上記の支援金・募金は平成29年1月末日現在です。

天台仏教青年連盟

# 協賛金協力者御芳名（敬称略）

皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます

## 天台宗務庁

天台宗宗務総長 木ノ下 寂俊

総務部長 阿部 昌宏

法人部長 長山 慈信

財務部長 田中 祥順

教学部長 中島 有淳

社会部長 角本 尚雄

一隅を照らす運動 総本部長 横山 照泰

延暦寺執行 小堀 光實

## 宗議会議員（寺籍簿順）

京都教区 護浄院 松景 崇誓

近畿教区 本山寺 百濟 寂仁

兵庫教区 八葉寺 國岡 恵心

岡山教区 千光寺 葉上 観行

四国教区 松岳寺 永合 韶俊

九州東教区 善正寺 野中 玄雄

九州西教区 青龍寺 藤 光俊

東海教区 延命寺 村上 圓竜

北陸教区 翠雲寺 岩尾 照尚

信越教区 光前寺 吉澤 道人

神奈川教区 遍照寺 坂本 圭司

東京教区 深大寺 張堂 完俊

東京教区 大圓寺 寺本 亮洞

北総教区 東榮寺 玉田 法信

南総教区 観明寺 細野 舜海

埼玉教区 福正寺 大澤 貫秀

群馬教区 東漸寺 河合 祖信

ホテルブライトンシティ
京都山科
ご予約・お問い合わせはこちら
075-502-1111（代）
京都市山科区安朱桟敷町 23 番地

THE WESTIN MIYAKO KYOTO
ウェスティン都ホテル京都
〒605-0052 京都市東山区粟田口華頂町1（三条けあげ） Tel.075-771-7111
www.miyakohotels.ne.jp/westinkyoto

ご宿泊や記念日・同窓会
忘新年会・ご法事などのご利用に
おごと温泉 浪漫あふれる水都の宿
びわこ湖 花街道
お問い合わせは下記フリーダイヤルにお気軽にどうぞ。
0120-051041
オゴトヨイ
〒520-0101 滋賀県大津市雄琴1丁目1-3
ホームページでもご予約を承ります。
http://www.hanakaido.co.jp/

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 群馬教区 妙見寺 小川晃豊 | 茨城教区 如意輪寺 船戸俊宏 | 栃木教区 圓林寺 柳澤最伸 | 福島教区 金礼寺 林光俊 | 陸奥教区 觀音寺 鮎貝宗城 | 山形教区 柏山寺 冨樫和廣 | **教区宗務所長**（寺籍簿順） | 滋賀教区 石垣坊 山岡智恢 | 京都教区 高正寺 若林節哉 |
| 近畿教区 松見寺 兼平明觀 | 兵庫教区 白毫寺 荒樋勝善 | 四国教区 長尾寺 木村俊雅 | 九州西教区 大善寺 甘井亮淳 | 東海教区 髙田寺 柴田真成 | 北陸教区 國分寺 松浪圓應 | 信越教区 領法寺 岩田真亮 | 神奈川教区 寳塔寺 榎本昇道 | 東京教区 法藏院 杜多徳雄 |
| 北総教区 大乗寺 弘海高顯 | 南総教区 能満寺 高橋隆叡 | 埼玉教区 福正寺 木本清玄 | 群馬教区 長福寺 三浦祐俊 | 茨城教区 藥王院 中村純亮 | 栃木教区 龍泉寺 源田俊昭 | 福島教区 観音寺 矢島義謙 | 陸奥教区 満福寺 千葉亮賢 | 山形教区 立石寺 清原正田 |
| **宗内御寺院・団体**（寺籍簿順）5口以上ご協賛の方 | 兵庫教区 清水寺 清水谷善英 | 東海教区 明光院 酒井妙照 | 信越教区 國分寺 塩入法道 | 信越教区 常樂寺 半田孝章 | 神奈川教区 天王院 生方常明 | 東京教区 圓通寺 瀧良英 | 東京教区 延命寺 宮﨑光通 | 東京教区 西光寺 京戸慈仁 |

各宗総本山御用達
お香 紫雲堂
(有)クスモトコーポレーション
事務所 徳島県徳島市昭和町5丁目18番6号105
ショウルーム 徳島県徳島市両国橋25番地
〒770-0912 TEL 088-622-4015
FAX 088-652-1327

佛壇・佛具
寺院荘厳具
（佛像修理承ります）
有限会社 筋田商店
〒350-0223
埼玉県坂戸市八幡1-6-34 坂戸郵便局前
TEL 049-284-3251 FAX 049-284-3252

公益社
ブライトホール
本社／京都市中京区烏丸通六角上ル
0120-004-200
京都 公益社 検索

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京教区 龍眼寺 市原孝信 | 東京教区 観音寺 本多賢眞 | 南総教区 笠森寺 小川長圓 | 埼玉教区 長福寺 岩本教裕 | 群馬教区 西光寺 谷晃昭 | 群馬教区 常圓寺 綾小路乗俊 | 茨城教区 長松寺 池田晃隆 | 茨城教区 來迎院 小川晃史 |
| 茨城教区 心性院 鈴木俊彰 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 茨城教区 來迎院 深谷尚永 | 茨城教区 慈眼院 糸賀匡人 | 茨城教区 永楽寺 平野健一 | 茨城教区 圓満寺 | 茨城教区 如意輪寺 寺門俊明 | 福島教区 西藏寺 横山大哲 | 陸奥教区 達谷西光寺 達谷窟敬祐 | 陸奥教区 歓喜院 高橋瑞海 |
| | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 兵庫教区 | 105 | 梅林寺 | 九州東教区 | 42 | 蓮乗寺 | 九州西教区 | 25の4 | 宝満山妙香庵 | 信越教区 | 45 | 光明寺 | 信越教区 | 51の2 | 広拯院 | 信越教区 | 102 | 不動寺 |
| 東京教区 | 90 | 教学院教会 | 埼玉教区 | 7 | 東泉寺 | 埼玉教区 | 8 | 長覺院 | 埼玉教区 | 123 | 圓能寺 | 埼玉教区 | 156 | 龍寶寺 | 栃木教区 | 58 | 瑞光寺 |

## 天台仏教青年連盟

| | |
|---|---|
| 代表 | 光榮純貴 |
| 副代表 | 隈井修道 |
| 副代表 | 中村隆広 |
| 事務局長 | 谷晃仁 |
| 事務局次長・庶務 | 二見亮覚 |
| 事務局次長・会計 | 清水谷善誠 |
| 事務局次長・法務 | 武円超 |
| 事務局次長・渉外 | 加藤邦宣 |
| 会計監査 | 吉山亮仁 |
| 会計監査 | 清原要田 |

## 布教広報委員会

| | |
|---|---|
| 委員長 | 鷹羽圓裕 |
| 副委員長 | 志鳥融禅 |
| | 近藤澄人 |
| | 南方俊彰 |
| | 荻原観宏 |
| | 服部諦圓 |
| | 菊池暁昇 |
| 担当役員 | 中村隆広 |
| 担当役員 | 吉山亮仁 |

印刷を極め、
印刷を超える——
ヨシダ印刷株式会社
関西支店 京滋営業所
〒604-8277 京都市中京区西洞院通り御池下ル三坊西洞院町572
TEL.075-252-5421／FAX.075-252-5423
URL http://www.yoshida-p.jp/
[金沢本社] 〒921-8546 石川県金沢市御影町19-1 TEL.076-241-2141(代)
[東京本社] 〒130-0014 東京都墨田区亀沢3-20-14 TEL.03-3626-1301(代)
[営業所・工場] 大阪・富山・金沢本社・江東潮見

社寺建築設計施工
株式会社 大幸社寺工務店
埼玉営業所 埼玉県川口市東本郷1-9-4
電話 048-452-4062 FAX 048-452-4063
本社 東京都足立区椿2-22-4
電話 03-3896-3531 FAX 03-5647-8077

お香 みつり苑
〒520-0524
滋賀県大津市和邇今宿 384-3
電話 077-594-1845
FAX 077-594-2151

誤記等がございましたらご容赦くださいますようお願い申し上げます。平成29年2月13日現在、ご協賛頂きました方を掲載しております。

# 平成二十八年度 常任委員会 委員長報告

## 結集研修委員会

委員長（兵庫） 大塚 貫哲

— 担 当 —
本山・京都・兵庫
九州東・群馬・北海道

結集研修委員会では、去る十月十二日、天台仏青連盟全国大会『北海道結集』を初めて北の大地にて開催致しました。開催に当たっては、当該教区である北海道仏青を中心に、茨城仏青、連盟役員の協力により実現することができました。

この北海道結集は、札幌市のロイトン札幌を会場に、『今だから考える自然との共生』～ぼくらもみんないきている～、をテーマに行いました。講演は、第一講では旭山動物園園長 板東元氏に園での様々な取り組みを事例に命の大切さ尊さをお話いただき、第二講では大正大学元学長 多田孝文師に草木成仏を中心にご講演をいただきました。

参加者は二百名近くあり、天台宗寺院の少ない北海道の地で、多くの天台宗僧侶が集い、北海道ならではの自然との共生について共に学び考えることができたのは大変意義深いことだと思います。ここで感じたものを各自が持ち帰り実践につなげていただけることと信じています。

## 救援委員会

委員長（栃木） 霜村 裕寛

— 担 当 —
近畿・神奈川・南総・埼玉
栃木・福島・山形

まずは、熊本地震、及び鳥取地震において、被災されました皆様には、心からのお見舞いとご冥福をお祈り申し上げます。特に熊本県大分県においては、関連死を含めて百五十名の尊い命が犠牲となり、また最大十八万四千人余りが避難生活を余儀なくされ、未だ自宅に戻ることのできない多くの方々が仮設住宅や、みなし仮設住宅に住まなくてはならないとお聞きします。

そんな中、九州西教区並びに防災士協議会の素早い対応と、益城町ボランティアセンターの皆様のご尽力により、複数回にわたり支援活動に参加できましたこと、心よりの感謝を申し上げます。

救援委員会では、東日本大震災を契機として様々な改革が実施され、今後も災害が起きると予測される中、より一層の他団体との連携が必要とされます。連盟会員各位におかれましては、引き続きのご協力ご支援をよろしくお願い致します。

## 情報通信委員会

委員長（岡山） 藤村 憲龍

— 担 当 —
岡山・山陰・九州西
三岐・東京・陸奥

情報通信委員会では、ホームページの更なる充実を図るべく、連盟・各仏青の活動予定や活動報告を順次掲載、更新を行っております。また近年多発しております自然災害、特に本年は四月に熊本地震が発災し、その際も被害情報の共有やボランティア活動の募集・報告のツールとしても活用されました。

また、各仏青会員のご協力のおかげもあり、「Q&A」の回答もかなり充実して参りました。会員の布教活動の一助となるよう、そして一般の方々には天台宗のみならず仏教に興味を持って戴けるよう掲載を進めております。

そして、本年度より連盟公式のfacebookを開設しました。現時点では連盟主催行事のみですが、諸行事の写真を中心に随時更新しております。こちらもHPと共に情報ツールとしてご活用戴ければと思います。

連盟HPアドレスは十二頁に記載しておりますので、ご参照下さい。

## 布教広報委員会

委員長（東海） 鷹羽 圓裕

— 担 当 —
滋賀・四国・東海・北陸
信越・北総・茨城

当委員会においては、本誌発行に向け編集作業を進めて参りました。恒例行事は例年通り、また教区仏青単位からのボランティア報告も掲載しました。特集ページでは北海道仏青発足十周年記念として、今年度開催された『北海道結集』を中心に取り上げました。

この会報誌は、一年間の天台仏青の活動報告の場として重要な媒体の一つであります。会員の様々な活動が、各方面に幅広く知れ渡るよう役割を担っております。それに加え、主催者側または参加者側による現場からの報告により、各行事に対しての理解が一層深まり、また各教区仏青活動や関連行事の紹介により、仏青全体のさらなる活性化の一助となれば幸いです。

今年度も多くの方に記事執筆、写真提供を頂き厚く御礼申し上げます。今後とも、皆様には会報誌作成にご理解ご協力を頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

## ～編集後記～

月日の流れは早いものだとつくづく感じた一年でした。そして、会報誌作りの楽しさを改めて知ることができた一年でした。「楽しさは時の流れを速める」恩師の言葉を思い出します。

最初の委員会では腕をくんで構成を考え、第二回で内容が決まり、第三回では「ぼんやり」が「くっきり」に変わりました。この変化が楽しさでした。

本年も鷹羽委員長のもと紙面作りを行ってまいりました。光榮代表の「和の精神」は我々の目指すところだと思います。本誌で大きく取り上げた「北海道結集」はまさに目的に向かう青年僧の姿だと思います。

本誌発行にあたり、寄稿くださいました皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。今後も多くの方にご愛読いただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

布教広報委員　志鳥 融禅